

# 台湾茶ニュース

## 中国大陸への輸出が拡大

茶葉の輸出量は海外の景気に伴い回復を見せる中、日本に輸出される烏龍茶、或いは通信販売による輸出、ギフト商品の販売が伸びているが、その量は非常に少ないと言える。烏龍茶飲料用の大量生産茶葉の日本での輸入は、いまだに中国大陸の烏龍茶が主である。その他、欧米や中国大陸に輸出している清香茶類、白毫烏龍及び番庄烏龍茶は特に人気が高く、今後も中国大陸の巨大マーケットは台湾茶拡販の主要エリアになると考えられる。

台湾では大量生産用の茶葉の生産不足により、毎年大量の輸入茶葉に頼らなければならない状況であり、輸入茶葉の多くは大容量紅茶や花茶が主要であり、少量ではあるが緑茶も輸入されている。

台湾の飲料用茶葉においては、無糖や微糖の烏龍茶、緑茶類の取引が盛んで、暑い夏には更に増えることが期待できる。

引用:2012年7月号 茶訊

## 全国東方美人茶品評会 鄧國權氏が二連覇

2012年度全国東方美人品評会の結果が発表され、特等賞は苗栗縣縣内実施の品評会でも常連である鄧國權氏が再び東方美人茶王の栄冠を勝ち取った。鄧國權氏は東方美人茶の製造を50年間も学び続け、今年再度防衛チャンピオンに輝き、名実共に東方美人茶王となった。

全国東方美人品評会には、今年計6都市から667点が出場した。東方美人茶品評会の品質を維持する為、審査員には茶業改良場から3名の専門家である陳國任課長、林金池課長及び陳俊良副研究員を招き、正確で公正、尚且つ公開された方法で全国の優良茶葉を審査することとなった。本大会では380項目にもわたる賞が受賞され、梅等賞には304名、三等賞は36名、二等賞は26名、頭等賞(一〜六)は7名、頭等賞は6名と特等賞1名が選ばれた。苗栗縣の鄧國權氏は緻密な製茶技術により、東方美人らしい水色、香り及び喉越しを表現することが出来たことから、再び茶王の座に選ばれた。



父親の特等賞受賞を喜ぶ鄧國權氏の娘

本大会の審査員となった苗栗農業改良場の林金池課長によると、今年東方美人の茶摘み時期(5月10日〜6月20日)には大雨が降り、チャノミドリヒメヨコバイが死んでしまったことから、今年の茶葉原料の品質に影響が出ていると言う。中でも収穫が遅れたことにより茶葉の一部青臭みや渋味が出てしまうという現象が起こり、本大会で受賞を逃した茶葉の多くはこのような状況だったようだ。しかしながら、林金池課長は本大会に良質茶葉も多数出場されていたことを指摘し、天候による影響を受けながらもこのように良質な茶葉を作り出すことの出来る茶農家の製茶技術には感心するばかりだと述べた。

苗栗縣の劉政鴻縣長は、本大会では苗栗縣の茶農家が三等賞以上の76項目中35項で入賞する大健闘を見せたことを強調し、二年連続で当縣が特等賞を獲得しただけでなく、今回の頭等賞(頭等賞一〜六を含む)13席のうち当縣が6席、二等賞では26席中13席、三等賞では36席中15席を獲得することが出来たことから、当縣の製茶レベルの分布はバランスが良く、トップレベルのベテランもいることを確信し、苗栗には美味しい東方美人茶があるのだから苗栗無しに東方美人は語る事は出来ないと述べた。

引用:2012年8月9日 NOW news

## 新竹縣には売るお茶が無い!?お茶博に三年連続で欠席

新竹縣の東方美人茶は先月品評を終え、販売価格は昨年よりも一割以上上がり、更にお金があっても手に入らないという状況である。農糧署の推進する台湾名茶計画に応じ、委託された台湾区製茶工業同業公会在11月に台北世界貿易センターで開催する予定の「台湾国際茶業博覧会」には、新竹縣の茶農家は既に販売出来る茶葉が残っていない為、三年連続で欠席するという事態が起こっている。

農糧署は近年台湾名茶計画を推進しており、茶葉にも「地産地消」や生産販売履歴、或いは産地証明標章を徹底し、消費者が安心して購買出来るよう努めたいと考えている。新竹縣の東方美人は二年前に標章を申請しており、それ以上に縣大会による品質の関門をクリアしていることから、市場でも絶大な信用を得ている。

新竹縣政府の范國銓農業処長は、今年の縣大会での特等賞茶葉は600グラム26万円(約68万円)で販売され、その下の優良茶葉も600グラム最低6500元(17,000円)以上の値段で販売され、先月品評が終わった直後、各地の茶商が先を争うように購入に来て、お金を出しても購入できないという状況であったと述べた。

今年の11月23日に台北世界貿易センターで実施されるお茶博覧会で、農糧署は茶葉製造工場の安全審査コンテストを実施したいと考えており、優勝した茶工場の展示販売に補助金を提示し、国産優良茶葉を推進すると共に、茶商とのマッチングをしたいと企画をしていたが、新竹縣の茶農家の支持を得ることは出来なかった。

農糧科長の梁明任氏は、出展には出展費がかかる他、新竹縣の東方美人は生産量が少なく品質が特に良いことから、11月にはほとんど売り切れてしまっており、この2年間お茶博に参加することは出来なかったのだが、今年も再度欠席しなければならないようになってしまったと説明した。

引用:2012年8月20日 中國時報

## パイナップルケーキにも烏龍茶を練りこんだ餡

「2012台北パイナップルケーキ文化節・台湾菓子名店展示会」が8月24日開幕し、ドイツ、イタリア、フランスのベーカリーからシェフを招き、台湾のパティシエと共にパイナップルケーキを異国風アレンジするコンテストを開催。午後には2012台北パイナップルケーキコンテストの受賞者を発表した。伝統部門の金賞は海因絲(ハインス)コーヒー館で、アイデアパイナップルケーキ部門では高山烏龍茶を餡に練りこんだ布列徳パン工房が金賞を獲得した。